

学校名	佐賀県立神埼高等学校		
-----	------------	--	--

1 前年度 評価結果の概要	・各評価項目ともに概ね目標を達成することができた。生徒は落ち着いた教育環境の中で学校生活を送ることができている。また、SCや外部機関の協力を得ながら校内の協働・連携の強化及び組織的な対応ができ、生徒が安心して過ごせる環境作りができている。 ・学力向上に向けて指導法を工夫し、生徒の主体的な学びを促し、希望進路に応じた学力が育成できるよう、研修の充実に努める。 ・学校行事では、生徒の主体的な取組や保護者や地域の方々の協力・支援によって新たな活動が生まれた。生徒の満足度も高く、大きな成果となった。 ・働き方改革の推進については、達成状況が不十分であるため、業務軽減、負担軽減に向けた学校業務全体の効率化を図る。 ・SAGAコラボレーション・スクールとして、「総合的な探究の時間」が生徒が進路を考える上で貴重な学びとなるよう、新たな地域連携の場面を模索し、活動内容の一層の充実と学校魅力化向上につなげたい。		
------------------	--	--	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	○地域の関係団体・企業等と連携・協働し、学校の新しい魅力づくりに挑戦する。 ○教科と探究活動を連動させた学びを推進することで、社会や地域の課題を探り解決に向かう経験を通し、持続可能な社会の担い手となる人材を育成する。 □「至誠・尚学・進取」を基調とし、社会に開かれた学び「KANKO学」とおして、自ら学び、課題を発見し、解決する能力を高めることで、他者と協働しながら豊かな社会づくりに貢献できる創造力と実践力を涵養する。		
----------------------------	--	--	--

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	・普通科進学校で、自分の目標に向かって真剣に学び続けることができる生徒を求めます。 ・学校内外での活動（地域探究活動、学校行事、生徒会活動、ボランティア活動など）に一生懸命に取り組む生徒を求めます。 ・高校での探究的な学びを通して、将来は地域社会や国際社会に貢献できる人になりたいという意欲を持った生徒を求めます。	・確かな学力と教養を育み、大学入試等の希望進路に対応します。 ・対話的で深い学びができるように、少人数授業や習熟度別授業及び選択制授業を実施します。 ・各教科の学習と総合的な探究の時間を連動させた「KANKO学」で、探究型の教育を推進します。	・持続可能な社会を支える、誠実で豊かな『人間性』を備えた人材を育成します。 ・幅広い知識と技能を基盤とした『課題解決力』『判断力』『表現力』を備えた人材を育成します。 ・グローバルな視野を持ち、地域社会に進んで貢献することができる『協調性』と『対話力』を備えた人材を育成します。

4 本年度の重点目標	(1) 希望進路に対応し、夢を叶える確かな学力の育成 (2) 地域社会に進んで貢献できる技能の育成 (3) 心身の健康と豊かな人間性の育成 (4) 学校の魅力づくりの推進		
------------	--	--	--

5 重点取組内容・成果指標				
(1)共通評価項目				
	重点取組			具体的取組
	評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
	●学力の向上	○教科指導の充実 ○家庭学習の充実	○生徒による授業評価で、基礎基本の定着や授業の理解が図れていると回答する生徒80%以上 ○「家庭学習を充実させるための効果的な学習課題やICTを活用した課題が提供されている」と回答する生徒80%以上	・学力と学習意欲を向上させる指導計画の作成と検証・見直しによる学習指導の充実 ・授業や考査・小テスト、評価活動に向けて必要な学習課題の提供 ・「学びの時間」を有効活用した振り返りと国英数の基礎基本の学習内容の定着 ・ICTの適切かつ積極的な活用と、Classiやスタディサブリなどの学習支援ソフトの有効活用を通した個々に応じた学習への取組の支援 ・職員相互における積極的な授業見学、「指導」から「主体的学びの支援」への移行
	●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「生徒会活動に主体的に取り組んでいる」と回答する生徒90%以上 ○「生徒の成長や自立を促し、支援することができる」と回答する教職員90%以上 ○問題行動を未然に防ぐ生徒の指導が行われていると回答する教職員85%以上	・ボランティアや自発的研修の参加の奨励と校外活動支援のための専用掲示板の設置やClassiの活用 ・クラス、学年、全学年による魅力ある教育活動の試行と実践 ・インターネットリテラシー育成のための防犯講話の年1回の実施 ・家庭学習時間調査後の担任による面談を実施 ・保健委員長や美化委員長を中心とした学校生活充実に向けた委員会の毎月の実施
		●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「安心して学べる環境づくりができていると回答する」と回答する生徒90%以上 ○「いじめ防止について組織的な対応ができている」と回答する教職員90%以上	・管理職、各学年主任、養護教諭、教育相談担当と年5回以上の生徒情報交換会の開催 ・いじめの認知・覚知について迅速な対応の徹底 ・教職員が情報共有できる体制づくりと連携・協働 ・毎月の教育相談便り発行、教育相談掲示板活用 ・生徒の状況観察、個人面談、年4回のアンケートによるいじめの予防と解決・解消 ・生徒会によるいじめ防止キャンペーンの実施と生徒が人権保護の意識を育む機会の創出
		◎ふるさと佐賀への思いを醸成する教育活動	★郷土の人材を活用した講演会等、各学年年間2回以上 ◎歴史的な所等の観光資源や教育資源を活用したボランティア活動やイベント企画など郊外での実践を渡し、郷土の魅力を発見し、愛着を感じると回答する生徒80%以上	・地域の現状と魅力を説明する講演会の実施 ・地域イベント、地域貢献活動に関するボランティア情報の生徒へ積極的提供 ・総合的な探究の時間やホームルーム活動、地域ボランティア活動を通した地域の現状把握と課題発見や解決の糸口を探る活動と郷土愛や道徳心の育成
	●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」 ●「健康を考えて行動できる能力の育成」	◎「目的意識を持ち、学び生き生きとした学校生活が送れている」と回答する生徒80%以上 ●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○「朝食を摂って登校する」と回答する生徒90%以上	・学習時間を含む生活習慣アンケートの実施 ・交通安全の講演会実施と交通マナー指導の充実と徹底、および道路交通法の徹底 ・通学路危険箇所の周知、毎朝登校指導による事故の未然防止 ・心身の健康と各種啓発活動とキャリアプランの実現 ・保健だよりの発行、心身の健康に関する各種講演会の実施を通した保護者・生徒自身による課題発見・解決のための実践力向上
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・出勤システムの活用による時間外勤務管理 ・月2回以上の定時退勤実践 ・部活動休養日の設定と順守 ・行事の精選、業務の協働や効率化の推進 ・学校閉庁日の設定	
●特別支援教育の充実	○教育相談や特別支援教育の実施 ○安心・安全な学習環境づくりに向けた個人および多様な価値観の尊重	○教育相談体制や特別支援教育の研修が充実していると回答する教職員90%以上 ○自己有用感、自己肯定感が高まったと回答する生徒80%以上	・年5回以上の生徒情報交換会の開催 ・全教員が生徒情報を共有できる方策づくりと活用 ・入学時のエンカウンターレクリエーションの実施 ・スクールカウンセラーによるSOS研修と生徒理解のための職員研修の実施 ・毎月の教育相談便り発行と教育相談掲示板の有効活用 ・教職員への研究・講演会の情報提供	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				
	重点取組			具体的取組
	評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
	★唯一無二の誇り高き学校づくり	★総合的な探究の時間における地域との深い関わりおよび主体的な探究活動への取組 ○学校情報の積極的かつ細やかな発信 ○自己の可能性の伸長と発掘を通して、社会の発展に寄与したいと考える生徒の育成	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合90%以上、教職員の割合90%以上 ○「総合的な探究の時間の活動によって、対話力や協調性が高まった」と回答する生徒80%以上 ○「社会に関心を持ち、地域の抱える課題やその解決策について考えるようになった」と回答する生徒80%以上	・探究活動のテーマ選定・作成のための講話と社会の課題解決につながる深い学びの実践 ・総合的な学習の時間および全授業を通した生徒同士の対話から自己の考えを深める活動への深化 ・「学びの時間」での社説を活用した取組による周囲の環境への関心を高める活動と学問研究を通した生徒の社会との関わり方の模索への支援 ・年6回程度の「学校だより」発行、月2回程度のHP、Instagramの更新
○主体的に学ぶ取組	○主体的な学びを促す取組の充実 ○学力を支える教養と学び続ける姿勢の育成	○生徒の主体的な学びにより、生徒自身の内面的な成長を促すことができていると回答する教職員80%以上 ○「学びの時間」が自己の成長につながっている」と実感できる生徒80%以上 ○「目的意識を持ち、将来の進路に向かって努力できている」と回答する生徒80%以上	・全教科において基礎学力定着のための個に応じた学習指導 ・生徒の協同的な活動や取組による主体的に考える生徒育成のための支援 ・「学びの時間」の年間計画と有効運用による落ち着いた教育活動の提供 ・生徒の主体的努力を促す時機を捉えた進路講演会・講話、面談の実施	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり